



今後の財政収支の見通し 〔粗い試算〕

平成22年4月
大阪府総務部財政課

粗い試算の改定について

法人二税を中心とした府税収入の大幅な減収という極めて厳しい財政状況のなか、地方交付税等の増や、土地売却収入、ボーナスカットなどの臨時的要因もあり、平成22年度当初予算がなんとか編成できたところ。

この平成22年度当初予算を発射台として、平成23年度から平成42年までの20年間を対象に、バブル期の景気対策等で大量発行した府債の最終償還の到来を視野に入れて、収支を試算。

試算にあたっては、現時点で見込むことができる条件を前提に推計。なお、この試算は不確定要素を多く含んでおり、相当の幅をもって見る必要がある。

今後、6月に政府の「中期財政フレーム」が示される予定であり、経済成長率の見込みなど試算の前提条件が大きく変動する場合には再試算を行う。

結果のポイント

長期的には、収支不足が縮小し、黒字基調が見込まれるものの、収入の範囲内で予算を組み、実質公債費比率を早期健全化基準(25%)以上にしないためには、『改革プラン』(仮称)の取組期間(23～25年度)中、毎年、要対応額が960～1,130億円見込まれる。

また、一時期(35～37年度)、収支不足が見込まれるのは、バブル期に大量発行した府債の最終償還が到来することによる影響である。

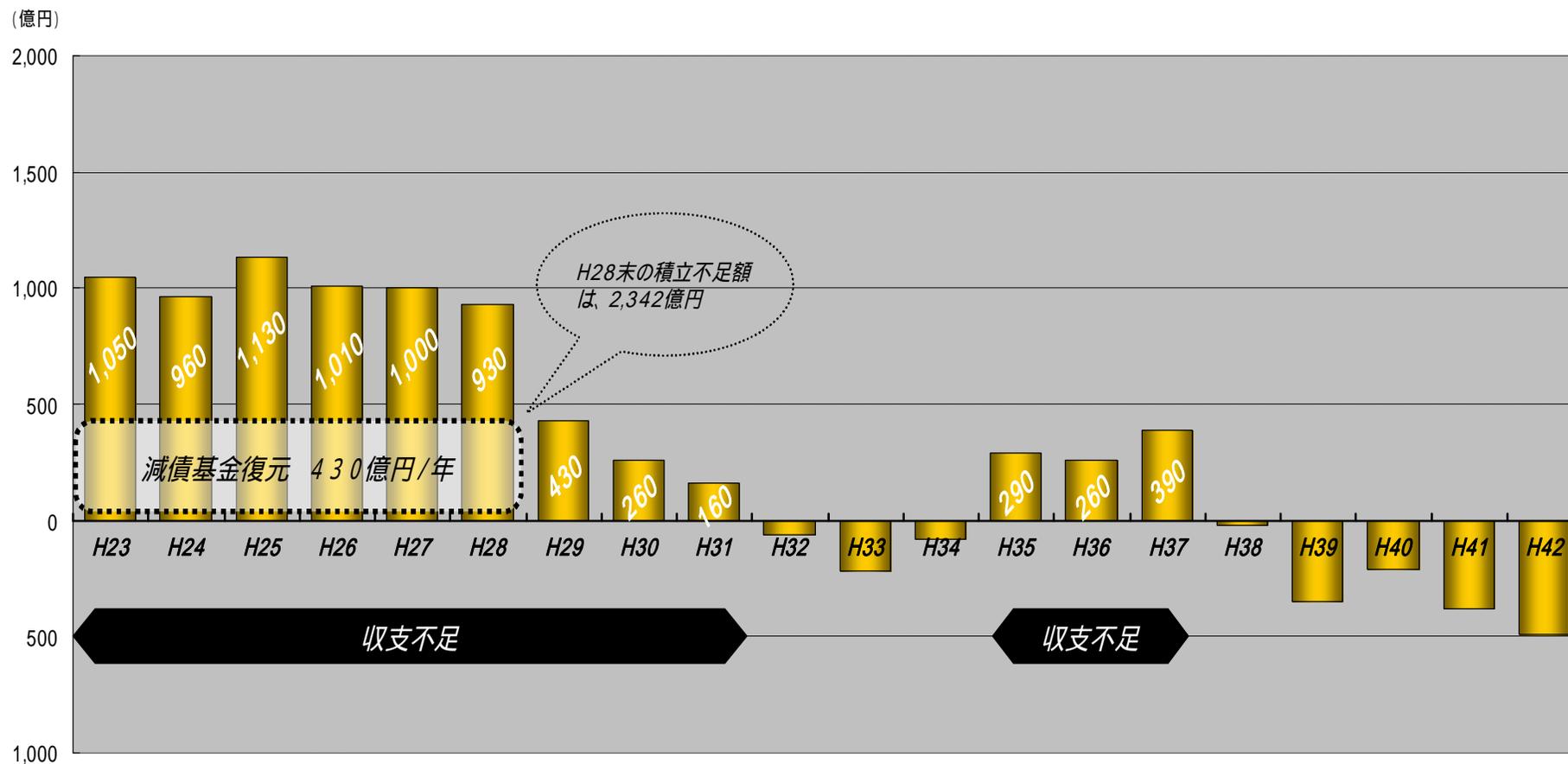
これは、過去、最終償還時に多額の一般財源が必要となる積立て方法をとっていたためである。(8ページ参照)

今後、この試算結果も踏まえ、『改革プラン』(仮称)の検討を進めます。これに基づいて社会保障や地方財政などの国への大胆な制度改革の提言を行っていきます。
また、次年度予算編成に向けて、収支試算の前提値などをさらに精査するとともに、施策の選択と集中を進めます。

実質公債費比率とは？

地方債協議制度への移行に伴い新たに導入された指標で、標準的な財政規模に対する実質的な公債費相当額の占める割合の過去3年度間の平均のこと。
この比率が25%以上になると「財政健全化団体」、35%以上になると「財政再生団体」になる。

財政収支の見通し



試算の前提条件

推計期間：平成23年度～42年度 推計ベース：22年度当初予算を基本として推計

歳入	府税	23年度	「平成22年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」における名目経済成長率(プラス0.4%) 法人二税の超過課税については継続(24年度以降も同様)
		24～30年度	前回試算と同じ(プラス1.3%)
		31年度～	伸び率ゼロ
	交付税等	府税と社会保障関係経費の推計を反映	
	一般歳入	税関連歳入については、府税の伸びに連動、その他については、23年度以降は原則、22年度当初予算と同額。	
	特定財源	現行制度をベースに歳出連動	
歳出	人件費	職員数は現時点での定数削減計画を反映。今後の給与改定は考慮せず。36年度以降は、35年と同額を見込む。	
	社会保障関係経費	現制度下による社会保障関係経費を推計。国制度改正による影響が不明な26年度以降は、25年と同額を見込む。	
	公債費	各年度の府債発行額から推計 発行金利：〔23年度〕2.0% 〔24～30年度〕2.5% 〔31年度～〕2.0%	
	税関連歳出	府税収入の見込み額から推計	
	その他	原則、22年度当初予算と同額を見込んでいるが、財政収支への影響が大きいと考えられる事業で、事業計画等を前提に現時点で事業費が見込めるものについては、26年度まで個別に積み上げを行った。(27年度以降は原則、26年度と同額。)	

財政収支の推計（H22年4月試算・概算）

税伸び率 H23 : +0.4% H24~H30 : +1.3% H31~ : ±0% 金利 H23 : 2.0% H24~H30 : 2.5% H31~ : 2.0%

(単位: 億円)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
歳出	人件費	8,366	8,457	8,690	8,590	8,500	8,360	8,190	8,070	7,900	7,830	7,750	7,670
	退職手当	1,067	997	1,000	1,010	1,030	990	920	880	790	780	760	720
	退職手当以外	7,299	7,460	7,690	7,580	7,470	7,370	7,270	7,190	7,110	7,050	6,990	6,950
	社会保障関係経費	3,088	3,374	3,470	3,490	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
	公債費	2,739	2,915	2,970	3,130	3,360	3,400	3,420	3,400	3,330	3,150	3,110	2,980
	税関連歳出	4,280	4,223	4,080	4,140	4,190	4,240	4,300	4,350	4,410	4,470	4,470	4,470
	投資的経費	2,354	2,148	2,050	2,240	2,090	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010
	公共	1,730	1,434	1,410	1,460	1,400	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340
	単独	624	714	640	780	690	670	670	670	670	670	670	670
	一般施策経費	11,287	18,067	11,450	11,400	11,200	11,200	11,210	11,210	11,200	11,210	11,220	11,200
歳出合計(A)	32,114	39,184	32,710	32,990	32,940	32,810	32,730	32,640	32,450	32,270	32,160	31,930	
歳入	府税・地方人特別譲与税	11,292	10,563	10,600	10,730	10,860	10,990	11,130	11,260	11,400	11,540	11,540	11,540
	交付税等（臨財債、減収補てん債含む）	5,562	6,730	6,550	6,600	6,680	6,620	6,410	6,180	6,000	5,830	5,830	5,830
	一般歳入（地方消費税清算金等）	2,397	9,115	2,200	2,360	2,180	2,200	2,220	2,320	2,260	2,290	2,290	2,290
	特定財源	12,863	12,776	12,740	12,770	12,520	12,420	12,400	12,380	12,360	12,350	12,340	12,330
	国庫支出金	3,999	2,395	2,450	2,460	2,420	2,370	2,350	2,330	2,310	2,300	2,290	2,280
	府債（通常債）	1,111	891	980	1,080	890	850	850	850	850	850	850	850
	貸付金償還金等	7,666	9,420	9,310	9,230	9,210	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
	府債（行革推進債等）	87	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計(B)	32,114	39,184	32,090	32,460	32,240	32,230	32,160	32,140	32,020	32,010	32,000	31,990	
単年度過不足額 (C)=(B)-(A)	0	0	620	530	700	580	570	500	430	260	160	60	
実質公債費比率	16.6%	17.1%	17.9%	19.4%	19.4%	21.0%	22.2%	25.8%	27.8%	28.7%	26.2%	25.7%	
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要償元額）(D)	52	228	430	430	430	430	430	430					
要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	1,050	960	1,130	1,010	1,000	930	430	260	160	-	
上記対応後の実質公債費比率	16.6%	17.1%	17.9%	19.4%	19.3%	20.5%	21.0%	23.6%	24.5%	24.9%	22.7%	22.0%	

財政収支の推計（H22年4月試算・概算）

税伸び率 H23 : +0.4% H24~H30 : +1.3% H31~ : ±0% 金利 H23 : 2.0% H24~H30 : 2.5% H31~ : 2.0% (単位: 億円)

区分	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	
歳出	人件費	7,640	7,600	7,530	7,530	7,530	7,530	7,530	7,530	7,530	
	退職手当	730	730	700	700	700	700	700	700	700	
	退職手当以外	6,910	6,870	6,830	6,830	6,830	6,830	6,830	6,830	6,830	
	社会保障関係経費	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
	公債費	2,820	2,990	3,420	3,390	3,520	3,110	2,780	2,920	2,750	2,640
	税関連歳出	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470
	投資的経費	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010
	公共	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340
	単独	670	670	670	670	670	670	670	670	670	670
	一般施策経費	11,220	11,210	11,210	11,210	11,210	11,210	11,210	11,210	11,210	11,210
	歳出合計(A)	31,760	31,880	32,240	32,210	32,340	31,930	31,600	31,740	31,570	31,460
	歳入	府税・地方法人特別譲与税	11,540	11,540	11,540	11,540	11,540	11,540	11,540	11,540	11,540
		交付税等（臨財債、減取補てん債含む）	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830	5,830
一般歳入（地方消費税清算金等）		2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	2,290	
特定財源		12,320	12,300	12,290	12,290	12,290	12,290	12,290	12,290	12,290	
国庫支出金		2,270	2,270	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	
府債（通常債）		850	850	850	850	850	850	850	850	850	
貸付金償還金等		9,200	9,180	9,180	9,180	9,180	9,180	9,180	9,180	9,180	
府債（行革推進債等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歳入合計(B)	31,980	31,960	31,950	31,950	31,950	31,950	31,950	31,950	31,950	31,950	
単年度過不足額 (C)=(B)-(A)	220	80	290	260	390	20	350	210	380	490	
実質公債費比率	25.6%	26.1%	24.2%	25.1%	27.3%	29.4%	26.2%	22.4%	19.8%	20.0%	
実質公債費比率25%を超えないための 対応額（必要還元額）(D)											
要対応額 (C)への対応+(D)	-	-	290	260	390	-	-	-	-	-	
上記対応後の実質公債費比率	21.5%	21.8%	20.5%	21.2%	22.6%	23.7%	20.7%	17.3%	14.9%	14.5%	

【参考】

財政収支の長期推計（H21年2月試算・概算） パターン 実質公債費比率を早期健全化基準以上にしないケース

税伸び率 H22：7%、H23：±0%、H24～29：+1.3%、H30～：±0% 金利 H21～24：2.0%、H25～：2.5%

（単位：億円）

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
歳出																
義務的経費	12,622	12,030	11,775	11,650	11,880	11,940	11,990	11,710	11,470	11,390	11,130	10,950	10,870	10,820	10,750	10,880
人件費	9,142	8,737	8,586	8,310	8,540	8,410	8,300	8,130	7,940	7,810	7,640	7,640	7,640	7,640	7,640	7,640
退職手当	1,098	1,070	1,074	1,030	1,000	1,010	1,030	990	920	880	790	790	790	790	790	790
退職手当以外	8,046	7,667	7,512	7,280	7,540	7,400	7,270	7,140	7,020	6,930	6,850	6,850	6,850	6,850	6,850	6,850
扶助費	368	400	415	410	410	410	410	410	410	410	410	410	410	410	410	410
公債費	3,112	2,893	2,774	2,930	2,930	3,120	3,280	3,170	3,120	3,170	3,080	2,900	2,820	2,770	2,700	2,830
税関連歳出	4,459	4,231	4,625	4,180	4,180	4,230	4,290	4,340	4,400	4,450	4,510	4,510	4,510	4,510	4,510	4,510
投資的経費	2,644	1,904	2,378	2,100	2,200	2,190	2,160	2,130	2,120	2,120	2,140	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120
公共	1,929	1,429	1,639	1,450	1,470	1,490	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460
単独	715	475	739	650	730	700	700	670	660	660	680	660	660	660	660	660
一般施策経費	10,685	11,009	11,718	11,850	11,810	11,730	11,720	11,620	11,620	11,820	11,620	11,620	11,640	11,630	11,640	11,620
歳出合計	30,410	29,174	30,496	29,780	30,070	30,090	30,160	29,800	29,610	29,780	29,400	29,200	29,140	29,080	29,020	29,130
歳入																
府税・地方法人特別譲与税	14,260	13,616	12,060	11,340	11,340	11,480	11,620	11,760	11,900	12,050	12,190	12,190	12,190	12,190	12,190	12,190
交付税等 （臨時債、減収補てん償含む）	3,029	3,582	5,036	5,400	5,300	5,200	5,100	5,010	4,920	4,830	4,740	4,740	4,740	4,740	4,740	4,740
一般歳入 （地方消費税清算金等）	1,777	2,524	2,721	2,140	2,140	2,120	2,140	2,160	2,180	2,210	2,230	2,230	2,230	2,230	2,230	2,230
特定財源	10,827	9,465	10,679	10,460	10,450	10,410	10,360	10,210	10,180	10,340	10,170	10,150	10,140	10,140	10,140	10,140
国庫支出金	2,351	2,375	2,184	2,160	2,200	2,170	2,160	2,140	2,120	2,110	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
府債（通常債）	1,195	842	1,132	920	1,020	1,060	910	910	900	900	900	900	900	900	900	900
貸付金償還金等	7,131	6,063	7,333	7,380	7,230	7,180	7,290	7,160	7,160	7,330	7,170	7,150	7,140	7,140	7,140	7,140
府債（行革推進債等）	150	185	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入合計	29,893	29,187	30,496	29,340	29,230	29,210	29,220	29,140	29,180	29,430	29,330	29,310	29,300	29,300	29,300	29,300
(C) 単年度財源不足額 (B)-(A)	517	13	0	440	840	880	940	660	430	350	70	110	160	220	280	170

() H19年度は決算額、H20年度は最終予算額（繰上充入金除く）、H21年度は当初補正予算額ベース（WTC関連事業費含む）

合計7,160億円

(E) 要対応額	720	1,120	1,180	1,220	1,160	930	850	570	390	340	280	220	0
〔参考〕 前回（H20年7月試算）の取組調整額及び要対応額	281	233	412	412	212	212	12	12					

減債基金完済

(F) 単年度収支	517	13	0	280	280	280	280	500	500	500	500	500	500	500	500	170
(G) 減債基金への返済額（表示）	680	0	0	280	280	280	280	500	500	500	500	500	500	500	500	82
(H) 累積収支	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88
(I) 減債基金残高（借入後）	2,359	2,183	1,665	1,860	1,870	2,750	2,900	3,280	2,900	2,560	2,980	3,150	3,510	4,420	5,220	5,790
(J) 減債基金借入残高	5,202	5,202	5,202	4,922	4,642	4,362	4,082	3,582	3,082	2,582	2,082	1,582	1,082	582	82	0
(K) 府債残高（臨時債等を除く全会計ベース）	49,874	49,518	48,489	47,360	46,240	45,690	44,420	43,430	41,470	39,490	38,080	37,030	36,330	35,880	35,490	35,010
(L) 実質公債費比率	16.7%	16.6%	17.4%	18.7%	18.9%	19.4%	20.2%	22.1%	22.7%	24.1%	24.9%	24.3%	21.7%	20.2%	19.0%	18.8%
(M) 標準財政規模（臨時債発行可能額含む）	14,998	15,105	14,790	14,580	14,480	14,480	14,500	14,520	14,540	14,570	14,590	14,590	14,590	14,590	14,590	14,590

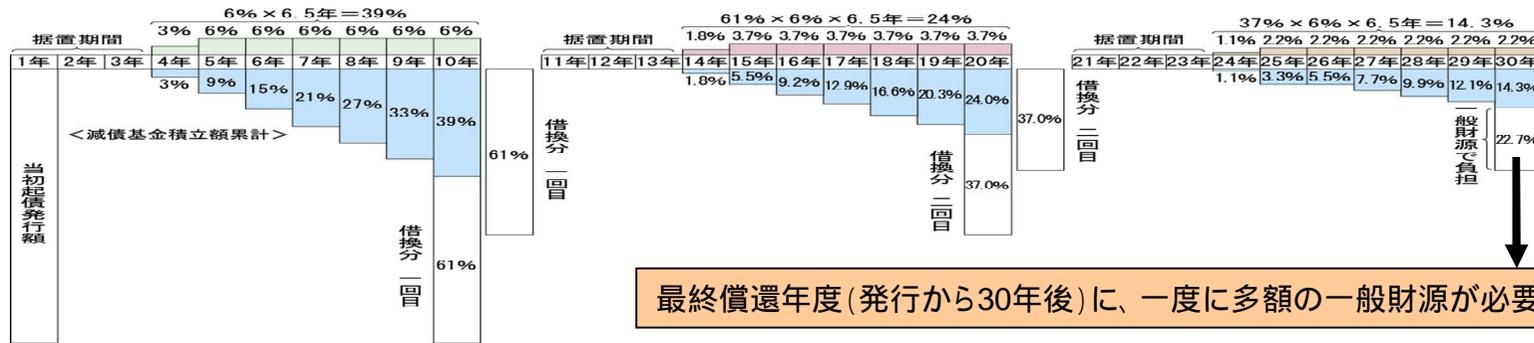
【参考】

減債基金への積立ルールに起因する課題について(その2)

平成16年度までに積立てを開始した地方債については、現行と違い、下図のようなルールで積立てを行っていました。このルールでは、最終償還時に多額の一般財源が必要となります。

バブル期の景気対策等で大量発行した地方債の最終償還が、平成34～44年度にかけて到来しますが、この間に合計で約6,800億円もの一般財源が必要となる見込みです。

減債基金の積立ルール【旧ルール】(平成16年度までに積立が開始されているもの)

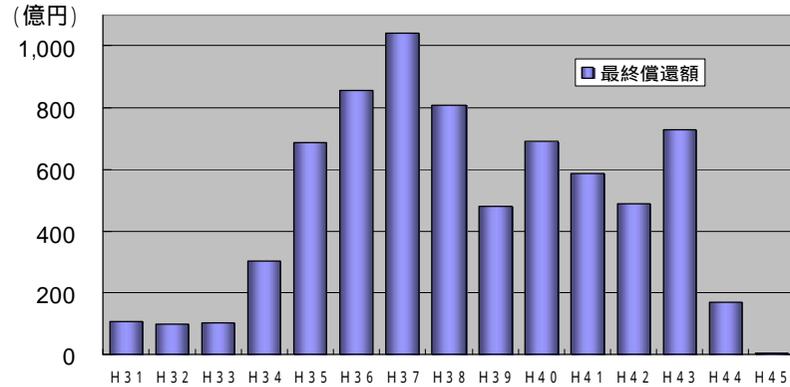


発行額等の推移(普通会計)

発行年度	発行額	最終償還額	
		うち民間資金(A)	(A) × 22.7%
H1	859	475	108
H2	1,007	429	97
H3	1,046	444	101
H4	2,829	1,333	303
H5	4,743	3,026	687
H6	4,299	3,772	856
H7	5,634	4,585	1,041
H8	3,975	3,570	810
H9	3,899	2,114	480
H10	3,708	3,032	688
H11	3,392	2,592	588
H12	3,289	2,153	489
H13	3,356	3,206	728
H14	3,168	731	166
		2,002	2
H15	3,361	2,981	3

最終償還額は理論値(当初発行額 × 22.7%)
 1は6%積立ルールのため最終償還22.7%(13年度出納整理期間発行)
 2は3.7%積立ルールのため最終償還0.1%(14年度発行)

最終償還額の見込み



平成34年度以降、民間資金の最終償還に必要な一般財源の額が大幅に増加する見込みです。